



令和元年度 第1回南信州民俗芸能継承推進協議会総会

次 第

日時：令和元年5月28日（火）
13時30分から15時00分まで
場所：エス・バードB201会議室

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 第1号議案 平成30年度事業報告
 - (2) 第2号議案 平成30年度決算報告
 - (3) 第3号議案 令和元年度事業計画（案）
 - (4) 第4号議案 令和元年度予算（案）
- 4 意見交換
- 5 その他
- 6 閉会



南信州民俗芸能継承推進協議会出欠名簿（2019.5.28）

区 分	役員	所属・役職	氏 名	備 考	出欠
民俗芸能団体	◎	伊那谷民俗芸能団体連絡協議会会長 黒田人形保存会 相談役	高田 正男		×
		伊那谷民俗芸能団体連絡協議会副会長 下條歌舞伎保存会 事務局	斎藤 充	伊那谷民俗芸能団体連絡協議会会長代理	○
		民俗芸能継承推進委員会委員長 和合念仏踊り保存会 会長	平松 三武		○
住民団体		柳田國男記念伊那民俗学研究所 事務局長	松上 清志		○
		南信州文化財の会 代表	吉澤 健		○
		南信州交流の輪 代表	関 京子		×
行政機関	○	売木村長 広域連合総務・文教・消防部会長	清水 秀樹		×
		松川町長 広域連合総務・文教・消防部会員	宮下 智博		×
		平谷村長 広域連合総務・文教・消防部会員	小池 正充		○
		豊丘村長 広域連合総務・文教・消防部会員	下平 喜隆		×
		飯伊市町村教育委員会連絡協議会会長	代田 昭久		×
	△	飯田市美術博物館 副館長	池戸 通徳		○
		長野県教育委員会文化財・生涯学習課 課長補佐兼文化財係長	小林 芳昭		○
		長野県南信州地域振興局 振興局長	土屋 智則		○
		南信州広域連合 事務局長	高田 修		○
アドバイザー (学識経験者)		國學院大学教授・折口博士記念古代研究所・柳田國男記念伊那民俗学 研究所長・飯田市美術博物館顧問	小川 直之		○
		長野県立歴史館館長 元長野県文化財保護審議会会長	笹本 正治		○
		東京福祉大学・大学院 留学生教育センター 特任准教授 元文化庁伝統文化課主任文化財調査官	宮田 繁幸		×

◎＝会長、○＝副会長、△＝監事

平成30年度事業報告

1 年間活動の検討

(1) 南信州民俗芸能継承推進協議会

平成30年5月28日（月）13時30分から15時00分まで
事業計画・事業予算の審議、意見交換

(2) 南信州民俗芸能継承推進委員会

平成30年5月28日（月）15時00分から16時30分まで
事業計画・事業予算の審議、意見交換

2 効果的・積極的な情報発信、啓発活動の展開【方向性1】

(1) インターネットによる情報発信

ア 南信州民俗芸能ナビの内容更新や各芸能の解説動画を追加 (<http://mg.minami.nagano.jp/>)

イ ツイッターの運用、情報発信を開始 (https://twitter.com/minami_minzoku)



民俗芸能ナビQRコード



ツイッターQRコード

(2) シンボルマークの決定・活用

協議会の活動を広く周知するために、シンボルマークを全国から公募。応募総数113作品（応募者69名）から最優秀作品を決定した。最優秀作品 吉沢正昭様（松川町）



縦バージョン



横バージョン

(3) 11月を「民俗芸能を考える月間」として勉強会・公演・体験会を実施した。

パートナー企業である南信州新聞社や飯田ケーブルテレビ、飯田エフエムにより協議会の活動方針や協議会行事等について広報した。

3 継承意識の醸成の場・発表機会等の提供【方向性2】

(1) 第2回伊那民俗研究集会の開催 ※柳田國男記念伊那民俗学研究所と共催

期日：平成30年10月27日（土）～28日（日）

場所：飯田市美術博物館

内容：「コト八日行事と神送り」

10月27日（土）13：00～16：50

- ア 開会・趣旨説明
- イ 映像上演・解説1「飯田市のコト八日行事」
- ウ 映像上演・解説2「松本のコト八日行事」
- エ 映像上演・解説3「長野の春彼岸行事」
- オ 映像上演・解説4「早稲田人形神送り」
- カ 映像上演・解説5「新野の盆踊り」

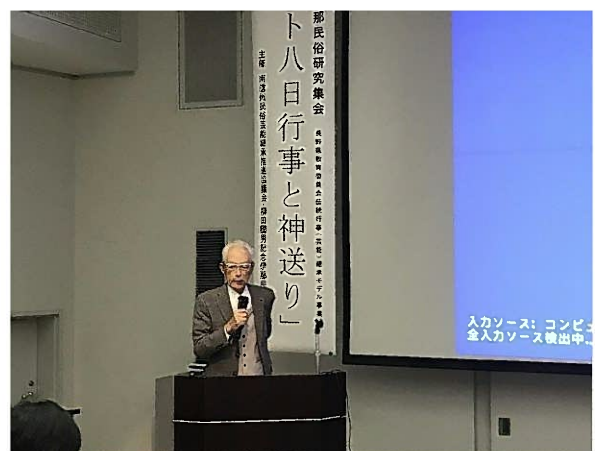
10月28日（日）8：30～15：20

- ア 柳田國男関連地見学会
- イ 研究発表1「長野県のコト八日行事」
- ウ 研究発表2「疫病と神送り-新型インフルエンザ流行を中心に-」
- エ 講演「コト八日-儀礼要素と祈りの原質-」
野本寛一氏（近畿大学名誉教授・元柳田國男記念伊那民俗学研究所長）
- オ シンポジウム「コト八日行事を考える」
- カ 総括
- キ 閉会

参加者：95人

効果：生活変化により変容し失われつつある多様な民俗文化について受講者と見直す機会となった。

各地域で伝承されるコト八日行事を題材にすることで、行事の根源や生活との結びつきまた、現代におけるコト八日行事の在り方について理解を深めることができた。



研究集会の様子

(2) 南信州芸能継承フォーラムの開催

期日：平成31年2月24日（日）

場所：飯田市竜丘公民館

内容：ロゴマーク表彰式

記念講演「民俗芸能を受け継ぐこと-その意義と地域社会-」

講師：國學院大學文学部 小川直之教授

芸能発表：市立和田小学校霜月祭クラブ「扇の舞、剣の舞」

飯田女子高等学校人形劇クラブ「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」

意見発表：「若き継承者の思い」大島山瑠璃寺の陵王の舞 佐々木大地氏

活動報告

参加者：150人

効果：民俗芸能の継承について地域全体で考えることで、民俗芸能に対する意識を醸成し保存継承に繋げていく。

また、若い世代の発表の場や意見発表の場を創出することで保存団体のやりがいを高めた。



記念講演の様子



飯田女子高校人形劇クラブの実演

4 子どもの芸能体験・参加機会の創出【方向性3】

子ども体験会 大島山獅子舞ワークショップの開催

※大島山獅子舞保存会育成部、大島山子ども育成会、高森町教育委員会との共催

期日：平成31年3月3日（日）

場所：大島山公会堂

内容：学習会（由来）、大島山獅子舞、宇天皇・猿着付け体験

参加者：小学生、中学生16人（地区内12人、地区外4人）

効果：南信州の獅子舞の源流について学習し、獅子舞や着付けに挑戦することで、民俗芸能に対する意識の向上が図られた。

また、子どもの頃から民俗芸能に触れることで、「やりがい」創出の場となり、将来の担い手確保や郷土愛に繋がる。



獅子舞体験の様子



着付け体験の様子

5 地区外人材の活用・受入の促進【方向性6】

民俗芸能体感・講習会「南信州民俗芸能フォーラム in 國學院—遠山霜月祭<和田>」の開催
※國學院大學との共催

期日：平成30年11月10日（土）

場所：國學院大學 常磐松ホール（東京）

内容：「日本の神楽と遠山霜月祭—舞の実演・記録映像上演・講演」

ア プレ記録映像上映「遠山霜月祭和田」

イ 開会・挨拶・趣旨説明

ウ 講演1（総説）「日本の神楽と遠山霜月祭」小川直之氏（國學院大學教授）

エ 実演「遠山霜月祭和田」遠山霜月祭和田保存会

（ア）踏みならしの舞（イ）祝儀の舞（ウ）湯立て（エ）面（水の王・火の王他）
（オ）金剣の舞

オ 講演2（解説）「遠山霜月祭和田の特質」櫻井弘人氏（飯田市美術博物館学芸員）

カ 記録映像上演「遠山霜月祭和田」

参加者：200人（首都圏在住の遠山地区関係者、一般）

効果：首都圏在住の遠山地区関係者へふるさとの文化の豊かさを伝え、地域の関係者として、継承のための支援に繋がる取組となった。また、学生を始めとした首都圏住民に対し、ほんものの伝統芸能を体感していただき、関心や繋がりを持つ機会を提供できた。



6 企業等による協力体制の構築【方向性7】

「南信州民俗芸能パートナー企業制度」の運用

内容：民俗芸能の保存・継承団体の取組に協力、支援する企業・団体を、県が「南信州民俗芸能パートナー企業」として登録。企業・団体名等を県民に対して広く周知する。

<協定締結・登録証交付式>

第6回：平成30年8月9日（木）登録企業1社

第7回：平成30年11月19日（月）登録企業10社

第8回：平成31年2月22日（金）登録企業20社

登録企業数：71社（令和元年5月28日現在）

効果：保存会の課題解決を企業の力で解決できるよう、また、相互に利益をもたらせるように様々な分野でのマッチングを図り、民俗芸能継承に向けた支援に繋げていく。

登録企業・団体では、従業員の民俗芸能の参加や休暇取得促進に積極的に取り組んでいただくとともに、行事の運営ボランティアとして積極的に参加いただいた。



霜月祭（上町）での活動の様子
飯田信用金庫様



清内路手作り花火での活動の様子
飯田信用金庫様、みなみ信州農業協同組合様



大鹿歌舞伎秋季公演での活動の様子
大協建設様

「南信州民俗芸能パートナー企業制度」登録状況

平成31年2月22日現在
南信州地域振興局

	企業・団体名	業種等	住所	登録日
1	飯田信用金庫	信用金庫	飯田市本町	H28.5.16
2	株式会社長野銀行	銀行	飯田市桜町(松本市)	H28.5.16
3	株式会社八十二銀行	銀行	飯田市知久町(長野市)	H28.5.16
4	興亜エレクトロニクス株式会社	電気機械器具製造業	阿南町西条	H28.5.16
5	信菱電機株式会社	家電製品及びプラスチック製品の設計製造業	飯田市久米	H28.5.16
6	多摩川精機株式会社	精密機械器具製造業	飯田市大休	H28.5.16
7	みなみ信州農業協同組合	農業協同組合	飯田市北方	H28.5.16
8	勝間田建設株式会社	建設業	飯田市松尾町	H28.11.14
9	株式会社飯田水晶山温泉ランド	観光業(温泉施設)	飯田市箱川	H28.11.14
10	旭松食品株式会社	凍豆腐等製造業	飯田市駄科	H29.3.2
11	株式会社飯田ケーブルテレビ	ケーブルテレビ	飯田市松尾明	H29.3.2
12	株式会社キンポーメルテック	精密板金加工業	飯田市三日市場	H29.3.2
13	株式会社コボックス	包装紙・包装袋等製造販売業	喬木村	H29.3.2
14	喜久水酒造株式会社	酒造業	飯田市鼎切石	H29.3.2
15	小林製袋産業株式会社	果実袋製造販売業	飯田市北方	H29.3.2
16	天恵製菓株式会社	菓子製造業	豊丘村神稲	H29.3.2
17	夏目光学株式会社	レンズ製造業	飯田市鼎上茶屋	H29.3.2
18	南信スバル株式会社	自動車販売業	飯田市上郷別府	H29.3.2
19	大平建設株式会社	建設業	喬木村	H29.10.3
20	金本建設株式会社	建設業	泰阜村	H29.10.3
21	株式会社お菓子のシアワセドール	菓子製造業	飯田市座光寺	H29.10.3
22	株式会社三六組	建設業	飯田市本町	H29.10.3
23	株式会社トライネット	建設業	飯田市松尾代田	H29.10.3
24	株式会社吉野組	建設業	大鹿村大河原	H29.10.3
25	北沢建設株式会社	建設業	飯田市吾妻町	H29.10.3
26	神稲建設株式会社	建設業	飯田市主税町	H29.10.3
27	大協建設株式会社	建設業	大鹿村鹿塩	H29.10.3
28	長豊建設株式会社	建設業	飯田市座光寺	H29.10.3
29	西村工業株式会社	建設業	飯田市鼎上茶屋	H29.10.3
30	野島建設株式会社	建設業	喬木村	H29.10.3
31	飯伊森林組合	森林組合	飯田市常盤町	H29.10.3
32	牧島建設有限会社	建設業	大鹿村大河原	H29.10.3
33	吉川建設株式会社	建設業	飯田市松尾町	H29.10.3
34	吉川工業株式会社	建設業	飯田市川路	H29.10.3

	企業・団体名	業種等	住所	登録日
35	飯田エフエム放送(株)	ラジオ放送局	飯田市常盤町	H30.3.13
36	(株)たまゆら	介護事業	飯田市北方	H30.3.13
37	(株)外松	食品卸売業	飯田市松尾上溝	H30.3.13
38	(株)南信州新聞社	新聞社	飯田市育良町	H30.3.13
39	木下建設(株)	建設業	飯田市松尾町	H30.3.13
40	斉藤工業(株)	建設業	飯田市松尾明	H30.3.13
41	信南交通(株)	バス事業	飯田市大通	H30.3.13
42	北陸功・コーポトリング(株) 飯田支店	清涼飲料製造及び販売業	飯田市三日市場	H30.8.9
43	阿南部品株式会社	自動車用組電線製造業	阿南町新野	H30.11.19
44	飯田商工会議所	経済団体	飯田市常盤町	H30.11.19
45	伊藤製菓有限公司	菓子製造業	喬木村	H30.11.19
46	株式会社キラヤ	食料品小売業	飯田市松尾上溝	H30.11.19
47	中部電力株式会社 電力ネットワークセンター 飯田営業所	電気業	飯田市吾妻町	H30.11.19
48	長野県商工会連合会 南信州支部	経済団体	飯田市追手町	H30.11.19
49	新野建築有限公司	建築業	阿南町新野	H30.11.19
50	丸昌稲垣株式会社	食料品製造販売	飯田市上郷黒田	H30.11.19
51	マルマン株式会社	食料品製造販売	飯田市大通	H30.11.19
52	名糖乳業株式会社	食料品卸売業	飯田市上川路	H30.11.19
53	飯田女子短期大学	短期大学	飯田市松尾	H31.2.22
54	株式会社 トマツ本店	種苗・農業用資材の販売、卸	飯田市松尾	H31.2.22
55	阿智の里 ひるがみ	旅館	阿智村智里	H31.2.22
56	阿智村保養センター 鶴巻荘	旅館	阿智村智里	H31.2.22
57	おとぎ亭 光風	旅館	阿智村智里	H31.2.22
58	お宿 山翠	旅館	阿智村智里	H31.2.22
59	懐石と炉ばたの宿 吉弥	旅館	阿智村智里	H31.2.22
60	株式会社 阿智屋神観光局	観光振興、地域振興事業	阿智村智里	H31.2.22
61	石苔亭 いしだ	旅館	阿智村智里	H31.2.22
62	日長庵 桂月	旅館	阿智村智里	H31.2.22
63	屋神グランドホテル 天心	旅館	阿智村智里	H31.2.22
64	屋神の棲 玄竹	旅館	阿智村智里	H31.2.22
65	保養センター 尾張あさひ苑	旅館	阿智村智里	H31.2.22
66	万葉茶寮 みさか	旅館	阿智村智里	H31.2.22
67	湯多利の里 伊那華	旅館	阿智村智里	H31.2.22
68	湯元ホテル 阿智川	旅館	阿智村智里	H31.2.22
69	癒楽の宿 清風苑	旅館	阿智村智里	H31.2.22
70	ユルイの宿 恵山	旅館	阿智村智里	H31.2.22
71	リフレッシュ in ひるがみの森	旅館	阿智村智里	H31.2.22

【参考】H30年度元気づくり支援金を活用した他の団体の民俗芸能に係る取組

団体名	事業名	事業内容 (①ソフト事業 ②ハード事業)
南信州阿智村清内路煙火等資産化事業実行委員会(阿智村)	南信州阿智村清内路煙火等資産化事業	阿智村清内路の手作り煙火を中心に南信州の花火文化を継承するため、文字と映像で記録を作成。聞き取り、文献調査、動画撮影、写真撮影を行い、住民学習会を開催して、継承に向けた地域の機運を向上させた。 ①専門家謝金、旅費、映像記録撮影費ほか
川路まちづくり委員会(飯田市)	川路地区の伝統芸能を一堂に～川路祇園祭り～	飯田市川路川路地区の祇園祭はかつては合同で行われていたが、三六災害後に各区に分かれて行われるようになり、近年は担い手減少で伝統芸能(祇園囃子、神輿、龍神の舞、獅子舞)の継承が危惧されるようになった。そうしたなか、継承に向けた体制を整備して、練習、研修会を行い、合同の祇園祭を復活させた。 ①会場舞台設営、笛・三味線・太鼓講師謝礼ほか
舞台芸術鑑賞事業企画委員会(飯田市)	ようこそ、歌舞伎の世界へ 地芝居の魅力発信事業	伝統芸能のファン獲得と継承の機運醸成に向けた各種事業に取り組んだ。 (1) 大鹿歌舞伎、下條歌舞伎、下條子ども歌舞伎の合同公演を飯田文化会館で開催 解説者によるイヤホンガイドを導入 (2) 歌舞伎を知るための体験ワークショップや歌舞伎講座の開催 (3) 大歌舞伎招聘に向けたワークショップ開催 ①歌舞伎保存会謝礼、イヤホンガイド、専門講師謝礼、イヤホン機材レンタル、広告宣伝ほか
南信州複合芸能文化の会(阿智村)	南信州の人形劇・獅子舞・サブカルチャーの複合芸能文化「南信州天昇オロチ」による南信州地域の文化振興	南信州の芸能文化を地域内外や若者世代に広く伝えていくため、獅子舞、人形劇、サブカルチャーといった当地域の文化の要素をすべて取り入れた複合芸能「南信州天昇オロチ」の演舞を作成。第40回人形劇フェスタ、第11回南信州獅子舞フェスティバル、第12回丘のまちフェスティバルで披露した。 (1) 若者中心に演舞団(40名)をつくり、獅子舞、お囃子、人形劇、踊りを練習 (2) 台本、獅子舞、人形を作成 ①台本制作、人形劇・演舞指導、②獅子舞、人形、衣装
下條村歌舞伎保存会(下條村)	下條歌舞伎、一步前へ!プロジェクト パート3	下條歌舞伎継承のため義太夫・三味線の練習を行い、稽古の集大成として「三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会」で披露した。同大会を下條村で開催し、豊橋、浜松(×2団体)、湖西、大鹿、下條の歌舞伎保存会による合同公演を行ったことで、技術と経験が向上され、継承に向けた地域の機運を高めることができた。 ①専門講師謝金、出演団体謝金、舞台製作費等
売木村	売木高原盆踊り継承事業	「売木高原盆踊り」を継承するための事業に取り組んだ。音頭取りの浴衣、盆踊りの歌詞を記した唄幕、盆踊りのCD、DVDを作成したほか、小中学生や住民向けの練習会を行い、後継者育成に取り組んだ。 ①浴衣(30着)、檣に飾る唄幕、CD、DVD(マスター、コピー各1枚)
大鹿歌舞伎保存会(大鹿村)	重文指定記念・大鹿歌舞伎体感伝承活用事業	大鹿歌舞伎の魅力を広く発信し、保存継承するための各種事業に取り組んだ。(1) 中学生や小学生対象の公演。(2) 「大鹿歌舞伎の歴史」をテーマにした講演会、体験ワークショップ。(3) 高速バスラッピング。(4) 歌舞伎用具の新調など。 ①音響委託、講演会講師謝金、高速バスラッピング(1台)、②衣装(振袖、羽織ほか)、かつら(4個)、小道具ほか
鹿島おどり保存会(飯田市)	「神代鹿島おどり」の復活と継承事業	飯田市松尾町3丁目に伝わる「鹿島踊り」は担い手不足などを理由に休止状態が続いていた。これを復活させるため、衣装を購入して定期的な練習を再開し、自治会で披露するなど後継者の獲得と育成に取り組んだ。 ①衣装一式(衣、袴、袴下、烏帽子、草履)8着

南信州民俗芸能継承推進協議会
平成30年度決算書

会計年度 平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで

収入総額	2,006,153 円
支出総額	1,999,039 円
差引残額	7,114 円 (次年度繰越)

収入の部

(単位:円)

区分	当初予算額	流充用額	予算現額	決算額	比較	摘要
1. 補助金	1,500,000	—	1,500,000	1,500,000	0	県補助(元気づくり支援金)
2. 負担金	500,000	—	500,000	500,000	0	南信州広域連合負担金
3. 雑入	0	—	0	6,153	6,153	パートナー企業からの支援金
合計	2,000,000	—	2,000,000	2,006,153	6,153	

支出の部

区分	予算額	流充用額	予算現額	決算額	残額	摘要
1. 推進協議会・委員会経費	250,000	-201,000	49,000	48,750	250	アドバイザー謝礼・旅費
2. 情報発信・意識醸成経費	1,116,000	160,000	1,276,000	1,275,599	401	継承フォーラム他
3. 担い手確保・人的支援経費	587,000	-14,000	573,000	572,039	961	國學院大學他
4. その他経費	47,000	55,000	102,000	102,651	-651	消耗品費、通信運搬費等
合計	2,000,000	—	2,000,000	1,999,039	961	

監査報告書

平成30年度南信州民俗芸能継承推進協議会収入支出予算の執行状況について、関係諸帳簿及び証拠書類に基づき監査したところ、適正に執行されていたことを認めます。

令和元年 5月 21日

監事 飯田市美術館

池戸通徳 

南信州民俗芸能継承推進協議会
会長 高田 正男 殿

令和元年度事業計画（案）

南信州の貴重な資産を未来に継承するため、平成28年2月に制定した「南信州における民俗芸能継承のための取組方針」に基づき、次の事業を実施する。

1 効果的・積極的な情報発信、啓発活動の展開【方向性1】

- ① ② (1) インターネットによる情報発信
ホームページの情報発信機能を充実させ各芸能団体の活動内容を常時発信する体制を作る。
- ① ② (2) シンボル（ロゴ）マークの活用した取組の検討
啓発グッズとしてロゴマークを活用したピンバッジを作成し、民俗芸能の継承活動の認知度を高める。
また、ロゴマークの使用規定（マニュアル）を作成し、市町村や企業・団体等にその使用を許可することで、自社HP等への掲載や商品への活用に繋げていく。
- ② (3) 10月～11月を「民俗芸能継承フェア」として、関係機関と連携し集中的な民俗芸能イベントの同時開催や民俗芸能関連行事の広報活動を実施する。

2 継承意識の醸成の場・発表機会等の提供【方向性2】

- ② (1) 交流・事業報告会の開催
民俗芸能継承フォーラム
期日：令和元年10月5日（土）
場所：飯田市鼎文化センターホール
内容：関東ブロック民俗芸能大会と連携し、当地域の若者を中心に民俗芸能の発表機会や意見交換の場を創出する。
- ② (2) 民俗芸能に係る講座の開催 ※柳田國男記念伊那民俗学研究所と共催
期日：令和元年10月13日（日）～14日（月祝）
場所：飯田市美術博物館講堂
内容：「(仮) 残された写真から地域の民俗を読み解く」
民俗芸能について講座を開催し、住民の民俗芸能への関心を高める。

3 子どもの芸能体験・参加機会の創出【方向性3】

- ② (1) 民俗芸能子ども体験会の開催 (R1. 10月～11月)
内容：南信州地域の子どもの対象に、地域の民俗芸能を学び体験するワークショップを開催する。(霜月祭りのお囃子体験など)
- ② (2) 高校生の伝統芸能体験の推進 (通年)
内容：高等学校の民俗芸能クラブの活動支援 (発表機会の提供に係る支援等)

4 次世代のリーダー育成に関する事業【方向性5】

- ⑨ 次世代の担い手との情報・意見交換会の開催（民俗芸能継承フォーラムでのパネルディスカッションなど）

5 地区外人材の活用・受入の促進【方向性6】

- ⑩ (1) 民俗芸能体感・講習会「南信州民俗芸能フォーラム in 國學院一向方のお潔めまつり」の開催 ※國學院大學との共催
期日：令和元年11月9日（土）
場所：國學院大學 常磐松ホール（東京）
内容：首都圏在住の南信州出身者や学生、研究者、住民を対象に、天龍村向方のお潔めまつりをテーマとした映像上演、実演・解説、講演会を開催する
- ⑩ (2) 南信州民俗芸能応援隊（仮称）の設置（通年）
内容：周辺（裏方）支援を行う外部支援者の受入策、組織化の検討・調整、地域おこし協力隊との連携を検討

6 企業等による協力体制の構築【方向性7】

- ⑩ 「南信州民俗芸能パートナー企業制度」の運用
内容：登録企業数の増加を図るとともに、民俗芸能団体の課題と企業が支援できる内容をマッチングし、企業の特性を活かした新たな支援内容の検討を行う。
また、企業の催し等に保存団体の上演を積極的に活用していただくよう働きかける。
ホームページ等によりボランティア活動への参加要請やボランティア活動の取組内容を周知する。

7 記録の保存【方向性8】

- ⑩ 南信州阿智村清内路煙火等資産化事業との連携
内容：上・下清内路の花火、南信州の花火の映像記録及び報告書作成支援。
阿智村清内路の生活文化を再確認するとともに、阿智村清内路及び南信州の地域文化を地域全体で考える機会とする報告会（令和元年10月27日）への参加支援。

8 その他

- ⑩ (1) 民俗芸能の観覧環境の整備
内容：「ほんもの」の民俗芸能を観覧するための環境整備の検討
（照明等整備、フラッシュ撮影禁止の取組の拡大、観覧マナーの確立等）
- ⑩ (2) 協議会継続のための独自財源確保の検討及び事務局体制の検討（NPO法人化など）
- ⑨ (3) 民俗芸能学習資料の作成検討
内容：小学校や中学校の授業で民俗芸能や祭りの歴史や意味を学ぶことができるような資料作成に向けた検討を行う。

【参考】 H31 年度元気づくり支援金を活用した他の団体の民俗芸能に係る取組

団体名	事業名	事業内容
舞台芸術鑑賞 事業企画委員 会	ようこそ、歌 舞伎の世界へ 歌舞伎の魅力 発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南信州地域に芸能・伝承芸能ファンを増やし、次世代に繋げていく機運の醸成を目的に、松竹大歌舞伎巡業公演を誘致するとともに、地域の小中学生や高校生を招待し、歌舞伎に親しむ機会を作る ・ 保存会員や地域住民を対象とした歌舞伎講座を開催する <p>①大歌舞伎公演、講座開催事業</p>
南信州複合芸 能文化の会	南信州の人形 劇・獅子舞・ サブカル チャーの複合 芸能文化「南 信州天昇オロ チ」による南 信州地域の文 化振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統芸能の獅子舞、人形劇、現代のサブカルチャーといった当地域の文化の要素をすべて取り入れた複合芸能「南信州天昇オロチ」の演舞を、飯田市で行われる人形劇フェスタ、飯田丘のまちフェスティバル、南信州獅子舞フェスティバル等に参加し実施するとともに、小型版の獅子舞を制作し、管内保育園・小学校へ出張上演を行う <p>①台本制作、デザイン費、舞台演、演舞指導 ②獅子頭制作、獅子舞制作</p>
大鹿歌舞伎保 存会	大鹿歌舞伎体 感伝承活用事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大鹿歌舞伎の魅力を広く発信し、保存伝承するための各種事業に取り組む。(1) 中学生や小学生対象の公演 (2) 「大鹿歌舞伎の歴史」をテーマにした講演会、体験ワークショップ (3) 高速バスラッピング (4) 歌舞伎用具の新調 <p>①音響委託、講演会講師謝金、高速バスラッピング ②歌舞伎衣装、かつら、小道具</p>
南信州阿智村 清内路煙火等 資産化事業実 行委員会	南信州阿智村 清内路煙火等 資産化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阿智村清内路の手作り煙火を中心に南信州の花火文化を調査し、文字と映像で記録する。地元で聞き取り、文献調査、動画撮影、写真撮影を行い、学習会を開催。花火文化の保存伝承を図る ・ 整備した映像や報告書をまとめ、各所で報告会を実施する <p>①専門家謝礼、専門家旅費、映像制作委託費、報告会印刷製本費</p>

南信州民俗芸能継承推進協議会
令和元年度予算（案）

会計年度 平成31年4月1日から
令和2年3月31日まで

収入総額	2,012,000 円
支出総額	2,012,000 円
差引残額	0 円

収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算	前年度予算	比較増減	摘 要
1. 繰越金	7,114	0	7,114	前年度繰越金
2. 補助金	1,500,000	1,500,000	0	県補助(元気づくり支援金)
3. 負担金	500,000	500,000	0	南信州広域連合負担金
4. 雑入	4,886	0	4,886	パートナー企業からの支援金
合 計	2,012,000	2,000,000	12,000	

支出の部

(単位:円)

区 分	本年度予算	前年度予算	比較増減	摘 要
1. 協議会助言者経費	250,000	49,000	201,000	アドバイザー謝礼・旅費
2. 情報発信・啓発活動経費	301,000	586,300	△ 285,300	ウェブサイト内容更新・充実、広報等
3. 意識醸成経費	795,000	689,700	105,300	交流・事業報告会開催等
4. 担い手確保・人的支援経費	592,000	573,000	19,000	子供体験会開催、県外体感・講習会開催
5. その他経費	74,000	102,000	△ 28,000	消耗品、振込手数料
合 計	2,012,000	2,000,000	12,000	

予算の各科目に過不足が生じた場合流用が出来るものとする。